

**令和3年度霧島市**  
**「緑のカーテン」普及啓発事業アンケート結果報告書**

鹿児島県霧島市  
市民環境部環境衛生課



## <目 次>

- 1 普及啓発事業の目的について・・・・・・・・・・P1
- 2 普及啓発事業について・・・・・・・・・・P1
- 3 アンケート結果・・・・・・・・・・P4
- 4 末永先生ワンポイントアドバイス・・・・・・・・P8
- 5 取組事例写真・・・・・・・・・・P10

## 1 普及啓発事業の目的について

地球温暖化対策を推進するためには、市民の理解と行動が不可欠であることから、市民が家庭等で取り組みやすい対策のひとつとして緑のカーテンの普及を図るために、平成21年度から実施しています。また、これまでのアンケート結果から地球温暖化防止以外にも環境学習、周囲の人とのコミュニケーション、心理的な癒し効果など様々な利点があることがわかりました。

本アンケート結果は、市民の皆さんのアンケート結果を取りまとめたものです。

### ～緑のカーテンとは～

つる性の植物を窓際にはわせて遮光し、室温の上昇を抑制することにより、冷房で消費される電力量及びこれに伴うCO<sub>2</sub>を削減し、地球温暖化を防止するとともに、ヒートアイランドを抑制することを緑のカーテンと呼んでいます。

## 2 普及啓発事業について

### (1)参加グループ数

100グループ（募集定員：100グループ）

### (2)募集期間

令和3年3月1日（月）から4月1日（木）

### (3)説明会及び苗配布

令和3年4月17日（土） 午前10時から正午

国分シビックセンター多目的ホール

### (4)説明会内容（敬称略）

苗の育て方講座・・・講師：国分中央高等学校園芸工学科生徒 12名

質疑応答・・・講師：末永 高志(国分中央高等学校園芸工学科教諭)

苗配布・・・1グループにつきゴーヤ苗4株、ハチマ苗2または、ゴーヤ苗4、ハチマ苗1、パッションフルーツ苗1

苗は、国分中央高等学校の生徒が育苗したものを配布しました。

### (5)アンケート結果

回収率・・・75%

※1団体3グループまで申込可能なため、アンケート回収枚数とは数値が異なります。

## 説明会の様子

### 会場



### 国分中央高等学校園芸工学科の生徒による育て方講座





国分中央高等学校園芸工学科末永先生によるワンポイントアドバイス



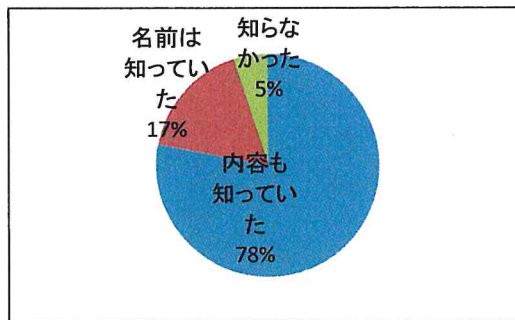
苗配付



## 令和3年度霧島市「緑のカーテン」普及啓発事業アンケート結果

質問1 緑のカーテンという言葉を知っていましたか。

内容も知っていた	32 人	78%
名前は知っていた	7 人	17%
知らなかった	2 人	5%
無回答	0 人	0%
計	41 人	—

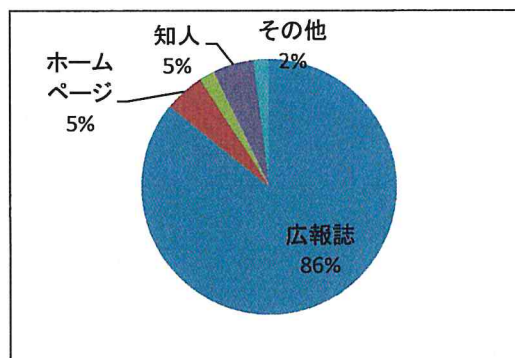


### 『考察』

8割近くの方が、内容を知っているということから緑のカーテンが広く認識されていることがうかがえる。

質問2 今回の事業を何で知りましたか。

広報誌	35 人	85%
ホームページ	2 人	5%
新聞	1 人	2%
知人	2 人	5%
その他	1 人	2%
無回答	0 人	0%
計	41 人	—

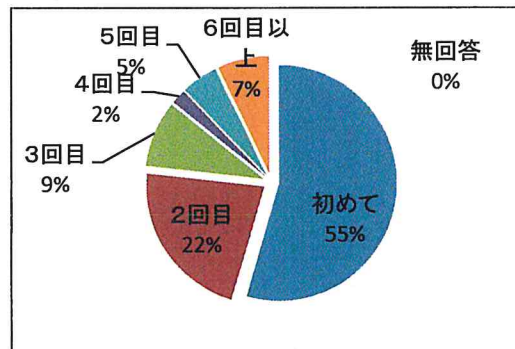


### 『考察』

広報誌を見て応募される参加者が大半を占めている。広報誌により参加の定着率が上がっている。

質問3 事業への参加は何回目ですか。

初めて	22 人	54%
2回目	9 人	22%
3回目	4 人	9%
4回目	1 人	2%
5回目	2 人	5%
6回目以上	3 人	7%
無回答	0 人	0%
計	41 人	—

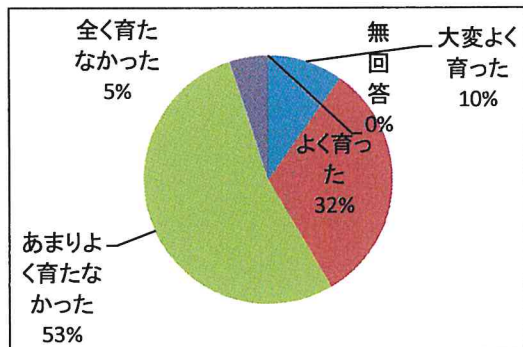


### 『考察』

今年度は初参加の方が半数を超え、多くの市民の方が新たに緑のカーテンの育成に取り組んだ。

質問4 育成状況を教えてください。

大変よく育った	4 人	10%
よく育った	13 人	32%
あまりよく育たなかった	22 人	54%
全く育たなかった	2 人	5%
無回答	0 人	0%
計	41 人	—



【自由意見】

〈成功意見〉

- ・ニガウリ、パッションフルーツともに葉が茂った。
- ・パッションフルーツは1.5mほど葉が伸びた。
- ・カーテンの役目を果たしてくれた。
- ・初めてにしてはよく育ち、パッションフルーツの実が6個実った。

〈失敗意見〉

- ・ゴーヤを毎年植えているが、今年は小さいものが多く、収穫数も少なかった。
- ・長雨の影響もあり、うまく育たなかった。
- ・ニガウリは収穫もできていたが、長雨で枯れてしまった。

『考察』

上記に掲載している意見以外にも梅雨の長雨の影響と思われる失敗意見が多く寄せられた。

質問5 緑のカーテンを実施した箇所と実施しなかった箇所の温度を測定してください。

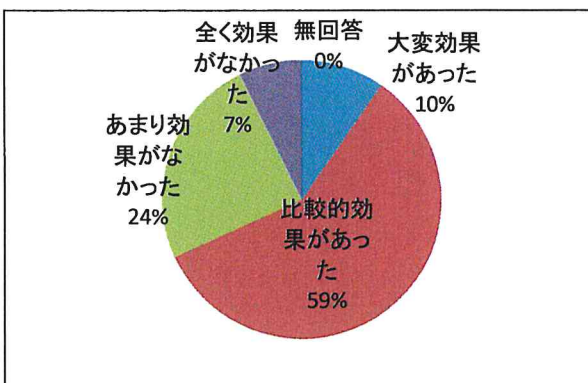
\* 晴れた日の午後2時頃1回計測してください。

屋外	カーテン実施した箇所平均	31.5 度	屋内	カーテン実施した部屋平均	28.3 度
	実施しなかった箇所平均	33.8 度		実施しなかった部屋平均	29.9 度
		↓			↓
	平均温度差	▲ 2.3 度		平均温度差	▲ 1.6 度
	最大温度差	7.0 度		最大温度差	7.0 度



質問6 緑のカーテンの効果がありましたか。

大変効果があった	4 人	10%
比較的效果があった	24 人	59%
あまり効果がなかった	10 人	24%
全く効果がなかった	3 人	7%
無回答	0 人	0%
計	41 人	—



【自由意見】

〈効果あり〉

- ・緑のカーテンがあることにより、視覚的にも涼しく感じられた。
- ・窓を開けたままで涼しく生活できた。
- ・説明会で育成について学んだことで、例年より効果が見られた。
- ・太陽の光が遮られ涼しかった。
- ・屋内に葉の緑色が反射する様子が美しく、心が和んだ。
- ・西日をさえぎることができた。

〈効果なし〉

- ・夕日のさえぎりが十分ではなかった。
- ・葉が茂らず影ができなかった。
- ・鉢をもっと大きいものにすればもっと葉が繁ったと思う。
- ・つるがあまり伸びなかった。

『考察』

緑のカーテンの効果は温度の低下だけではなく、視覚的にも涼しく感じるという意見が多かった。

質問7 栽培するのに苦労した点、分からなかった点、工夫した点はありませんか。

【自由意見】

- ・プランターで育てることが初めてで肥料の量が難しかった。
- ・真夏の水やりに苦労した。
- ・今年は実がつくのが遅く、小さくしか育たず、収穫量も少なかった。
- ・土壌改良や追肥などを行い、例年よりはツルの成長が良かった。
- ・西陽の強さで土壌がすぐ乾いてしまい、根元から枯れてしまった。
- ・ヘチマは虫にほとんど食べられた。
- ・化成肥料は使用しなかったが、緑のカーテンを作るうえでは使用したほうが良かった。
- ・初めは順調に育ったが長雨の影響を受けたのか後からは葉が少なくなった。
- ・ネットを張るのに苦労した。
- ・時期ごとにどのような肥料を使用すべきなのかが分からなかった。
- ・今年の苗は元気で成長が良かったが、実は小さめであった。
- ・雨が多く、日照不足であった。
- ・雄花はたくさん咲いたが雌花は小さく探すのが大変であった。
- ・パッションフルーツの剪定の時期がわからなかった。
- ・今年は大成功だった。
- ・夏の暑さで水切れにならないように気をつけたが、難しかった。
- ・受粉の方法は本で調べて行った。

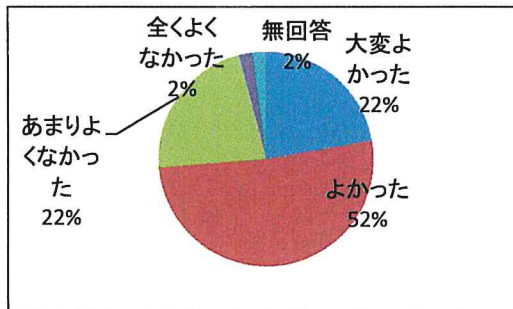
『考察』

追肥や夏場の水やりの回数を工夫したという意見が多く見られた。苦労した点としては育成の方法や長雨についての意見が多く見られた。



質問8 取組全体の感想を教えてください。

大変よかった	9 人	22%
よかった	21 人	51%
あまりよくなかった	9 人	22%
全くよくなかった	1 人	2%
無回答	1 人	2%
計	41 人	—

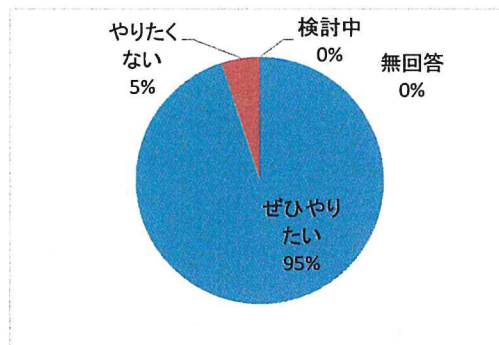


【自由意見】

- ・国分中央高校の生徒に育てる楽しさを教えてもらった。
- ・良い苗を頂いたのにうまく育てられず申し訳なく思う。次回は管理に気をつけたい。
- ・プランター植栽は水の加減が難しい。
- ・葉が多くて良かった。ニガウリ、ヘチマ、パッションフルーツも食べることができた。
- ・雨の日が多くニガウリは枯れてしまったがヘチマはなんとか育った。
- ・ニガウリは育成期間が短いのもう少し期間の長い植物が良い。
- ・今年は成長させられなかったなので、是非リベンジしたい。
- ・次回は今回よりも大きなプランターで育てたい。
- ・育てる楽しみもあり、部屋の温度も下がるため、実施してよかった。
- ・追肥のタイミングが難しい。
- ・国分中央高校園芸工学科の方に感謝しています。

質問9 来年度もやりたいと思いましたか。

ぜひやりたい	39 人	95%
やりたくない	2 人	5%
検討中	人	0%
無回答	人	0%
計	41 人	—



『考察』

来年度も実施したいという意見が9割を超えていることから、事業の有益性がうかがえる。

## 4 末永先生のワンポイントアドバイス！

### (国分中央高等学校園芸工学科教諭)

#### ◎水やりの方法

水やりの時間は、気温の高くなる日中を避けて、朝夕の涼しいうちにしたほうがよいです。水やりの量は、プランターで栽培している場合、土の表面が白っぽく乾いたら下の排水口から水が出てくるくらいたっぷりあげましょう。梅雨の時期は雨で土に含まれている水の量が多すぎて根腐れが発生しやすくなります。この時期はプランターの底の一方側にレンガなどを敷いて傾けておき、強制的に排水してあげると良いでしょう。

なお、プランターの土は表面が硬くなりやすい条件にあります。土の表面にワラなどを薄く敷いてあげると、土が硬くなるのが防げるのではないのでしょうか。たまに、プランターの横から軽くたたいて、土をほぐしてあげると、水はけは一段と良くなると思います。

最後に、緑のカーテンを設置する場所は、とても日当たりの良いところです。カーテンが出来上がるまでの期間、日中は土、プランターどちらも、直射日光が当たるため、かなりの高い温度を保ったままの状態になってしまいます。そこで、プランターに一工夫してみてもどうでしょうか。例えば、プランターの外側にアルミホイルのような銀紙を張ってあげるのです。すると、温度の上昇も防げるほか、アブラムシ等の害虫が寄ってこないといった効果も得られます。

#### ◎肥料のやり方について

肥料を与える前に、注意することがあります。それはプランター栽培の場合も、地植え栽培の場合も出来るだけ、毎年土を入れ替えてあげることです。何年もプランター栽培で利用した土を続けて使ってしまうと、生育は極端に悪くなります。地植えの場合も冬場に掘り起こして寒さに当てておくことや堆肥を混ぜて土作りをしておくことが大切です。

さて、肥料についてですが、肥料には様々な種類があります。出来ればゆっくりと肥料分が溶け出していくような「緩行性の肥料」が良いと思います。肥料の量は肥料の粒の大きさにもよりますが、追肥の場合（2週間日おきが目安）1回につきスプーン2杯程度が限度でしょう。やりすぎに注意してください。また、肥料は土に混ぜるようにしてください。時期によって「元気がなくなったな」「早く肥料を効かせたいな」と感じたら、1000倍くらいの液体肥料を水やり代わりに与えても良いのではないのでしょうか。

#### ◎ツルの摘み方

先に伸びようとするツルの先端が多すぎると、植物は疲れてしまいます。目標の高さや広さに達したら、ツルの数を制限するために先端部分を随時摘んであげましょう。すると、元気のいいツルが葉の付け根より出てきます。葉の密度が高い緑のカーテンができていくことでしょう。なお、ツルを摘む場合は、摘んだ後の切り口が乾くように天気の良い日を選んでください。

## ◎親ツルと子ツルの見分け方

基本的に親ツルの葉の付け根から出てきているツルが子ツルです。その子ツルの付け根から出てきているツルが孫ツルです。ヘチマやゴーヤは子ツルや孫ツルの葉の付け根に雌花が着きやすい性質を持っています。実の収穫する量と葉を茂らせる面積とがバランスよくなるように、生育状態を観察しながら、先ほど述べたツルの先端を摘む事（摘心）を行ってください。なお、あまり細かく子ツルや孫ツルを見分けて管理していく必要はないと思います。

## ◎長持ちできる緑のカーテンに最適な植物

全国各地で緑のカーテンに利用されている植物は多岐にわたっているようです。「今後、利用されてみては」と考える植物を下に上げてみます。参考になさってください。

（果実を収穫出来る楽しみのある植物として）

- ・ヘチマ
- ・ゴーヤ
- ・大長ササゲ
- ・シカクマメ
- ・ヒョウタン

（花を楽しむ植物として）

- ・ヨルガオ（夕顔）、
- ・オーシャンブルー（宿根性アサガオ）、
- ・フウセンカズラ、
- ・ブーゲンビリア



今後とも、高校生の生徒達とともに「緑のカーテン」普及啓発事業へ協力させていただければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



5 取組事例写真

